

事業実績報告書

様式2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-47	講座名	ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑でわたをつくろう！」
記載日	2021.11.30	団体名・企業名	特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも

〈講座全体の概要〉(300字程度)

名古屋市内の住宅街のなかにある「いのこしの畑」で、わたをはじめとするさまざまな自然を観察する。

「いのこしの畑」で出来たわたを収穫し、種取り・弓打ち等を体験、糸つむぎをし、その糸を使ってコースターを織る。



※写真1の説明

丹羽正行さんによる弓打ち実演

※写真2の説明

糸つむぎ

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

- ・参加者の年齢が低かったため、糸つむぎやコースター織りは難しかった。対象年齢を「小学生以上」と区切るか、講座内容を再考すべきと感じた。
- ・大人と子どもを分けて作業をしたため、大人の参加者は自分の子どものことを考えず、自分の作業に集中でき、満足しているようだった。しかしそのため、年齢の低い子どもたちには、スタッフがつきっきりでサポートする必要があった。年齢の低い子どもたちには、別の内容かもしくは「託児」が必要と感じた。
- ・事前にスタッフが作業の打ち合わせや練習を行ったため、参加者へのアドバイスができたり、余裕を持って講座に参加することが出来た。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ・コースターひとつつくるのにもわたの糸がたくさんいることがわかって、「すごい!」。職人の人は大変だと気が付いた。家で育てて出来たわたで糸を作ってコースターをまた作ってみたい。(小学3年・女子)
- ・スピンドルで糸をちようせいしながらつくるのがむずかしかった。(小学3年生・男子)
- ・わたの実から糸が出来るまでのプロセスがわかっておもしろかった。糸と種を分けることが楽しかった。
- ・体験系の講座にはいろいろ参加してますが、この講座の最大の良さは大人と子どもが別々にやること。子どもがわたしに甘えず、しかもゆったり大人だけでできるので集中してやれました。
- ・他の方たちといっしょに、親子別にできてたのしかったです。